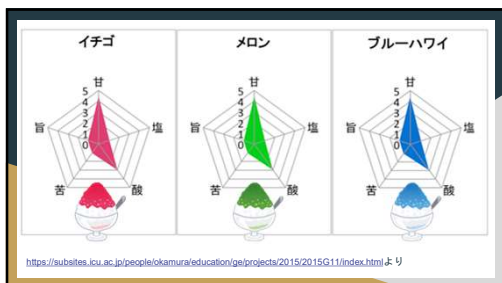


水の色と味の関係

1年F組 4班



背景
か
好きな時に好きな味の飲み物が飲める！！！！
水の

仮説

- 赤色の水→甘味が強く感じる
- 黄色の水→酸味が強く感じる
- 緑色の水→苦味が強く感じる
- 青色の水→塩味が強く感じる

- ### 本日の流れ
1. 予備実験①：水の色は味に変化を与えるのか
 2. 予備実験②：着色料自体の味の影響
 3. 本実験：色と味の関係
 4. 考察・まとめ
 5. 今後の展望

予備実験①

目的

着色料を加えた水道水の味の差を感じるために処理が必要か、どのような処理をするべきかを確かめる。

方法①

A (無処理の水道水に五色をつけた) と、B (水道水に砂糖とレモン汁で味を加えて同じ五色をつけた) を用意した。

	A	B
水質	水道水	水道水
色	赤・緑・紫・黄・無色	赤・緑・紫・黄・無色
味付け	無処理	砂糖 (30g/L) レモン汁 (小さじ3/L)

方法②
 班員5人で飲み比べ、五味をそれぞれの程度感じたか評価した。

結果
 Aの味がつけ方が悪い！！
 色に感じられ

予備実験②
 目的
 味の差が**着色料自体の味**による影響である可能性がある

↓

着色料自体に味があるかを確認する

方法
 予備実験①と同じようにA、Bを用意した。班員5人で**目隠し**をして飲み比べ、着色料の色の違いによる味の変化があるかを確認した。

	A	B
水質	水道水	水道水
色	赤・緑・紫・黄・無色	赤・緑・紫・黄・無色
味付け	無処理	砂糖 (30g/L) レモン汁 (小さじ3/L)

+ **目隠し**

結果
 味をつけて実験すると
着色料自体の味が打ち消される

↓

五味の差が色による影響なのかわかる

緑の着色料の旨味を感じ、黄色の着色料の違いによって味の感じ方に差がない

予備実験と本実験での変更点

- ▼被験者を5人→36人に増やす
- ▼評価方法を5段階にし、連想したものを自由表記してもらった

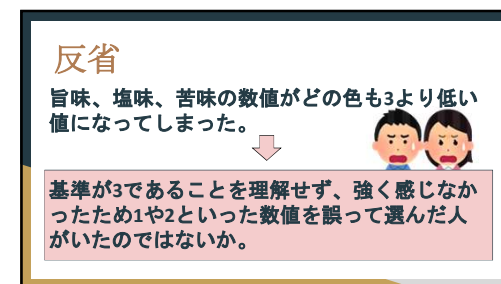
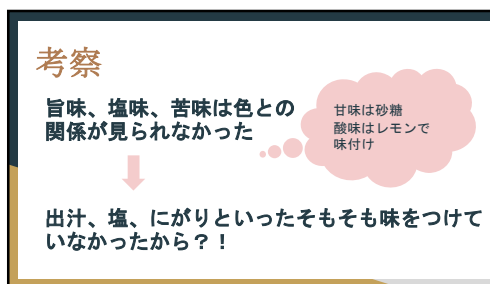
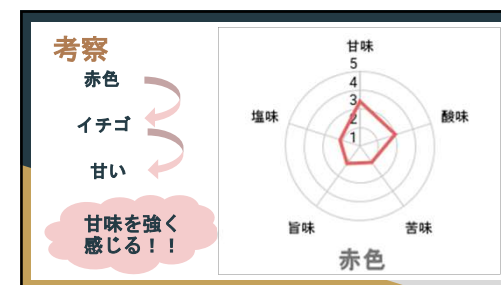
本実験：水の色と味の関係

方法
 ①1年F組の生徒**36人**に、砂糖とレモン汁で味をつけた水道水を5色(無色、赤、青、黄、緑)飲み比べてもらった。

方法
 ②**3(無色)**を基準に五味をそれぞれの程度感じたか、5段階で評価してもらった。

1 3(無色) 5

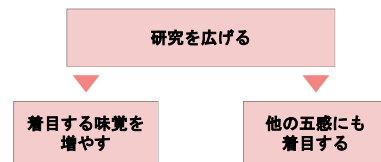
弱 ← ● → 強



結論

- ▼ 味をつけた場合、味の感じ方は**視覚**に影響を受ける
色から**連想される食べ物**の味に影響を受ける
- ▼ 味をつけない場合、色によって味を感じさせることはできない

今後の展望



今後の展望

